

## カフキーパーDX

### 【禁忌・禁止】

#### 1. 使用方法

- ・可燃性麻酔ガスおよび高酸素濃度雰囲気内で使用しないこと。(爆発または火災を起こすおそれがある。)
- ・接続チューブは再使用禁止。
- ・本体は防水ではないため、水に浸けたり丸洗いしないこと。
- ・濡れた手で電源スイッチを操作しないこと。

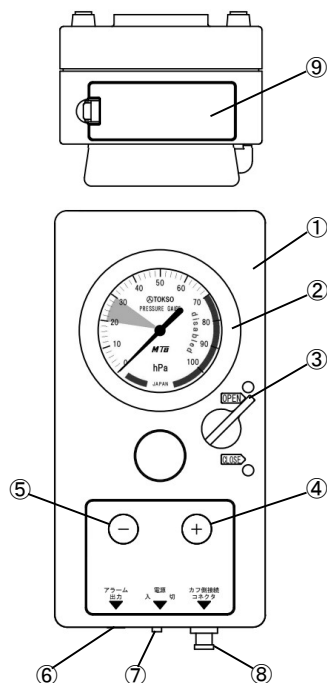
#### 2. 併用医療機器(相互作用の項参照)

- ・磁気共鳴画像診断装置(MRI装置)の周辺で使用しないこと。
- ・高圧酸素患者治療装置内で使用しないこと。

### 【形状・構造及び原理等】

#### 1. 形状・構造及び各部の名称

##### (1) 本体外観



番号	名称
①	本体
②	圧力計
③	閉止コック
④	+ボタン
⑤	-ボタン
⑥	アラーム出力部
⑦	電源スイッチ
⑧	カフ接続コネクタ部
⑨	電池ボックス部

##### (2) 付属品

番号	名称
①	接続チューブ
②	固定金具

#### 2. 原理

カフの過膨張を防ぐために圧力を表示する圧力計を備えており、ボタン操作でポンプおよびバルブを作動させることでカフに空気を注入してカフ圧を設定値に維持する。

#### 3. 電氣的定格

機器入力定格	DC3V (単4乾電池×2本)
--------	-----------------

#### 4. 本体の外形寸法及び質量

外形寸法	縦 175mm×横 85mm×奥行 75mm
質量	350g

#### 5. 品目仕様等

測定範囲	0-70hPa
測定精度	±4hPa (20-70hPa)
安全機能	異常低圧アラーム

### 【使用目的又は効果】

気管内チューブ又は気管切開チューブが体内にある場合、チューブのカフに空気を注入するために用いる。

### 【使用方法等】

#### 1. 使用前準備

- (1) 付属品に欠品がないか確認し、本体に電池および接続チューブを取付ける。
- (2) 本器を付属の固定金具で固定または水平な安定した場所へ設置して電源スイッチを入れる。

#### 2. 使用方法

- (1) 閉止コックを OPEN (黄色○印) 側に回し、接続チューブのクラップを閉塞させて圧力計が 60hPa を示すまで + ボタンを押して加圧し、2~3 秒間維持されることを確認する。

本品の使用前に、カフに異常がないことを確認すること。挿管及び抜管の際には、あらかじめシリンジ又はバキュームを用いてカフの空気を完全に抜くこと。

- (2) 接続チューブを介して気管チューブまたは気管切開チューブのカフインフレーションラインに接続する。
- (3) + ボタンを押して加圧し、60~70hPa になるまでカフを拡張させる。これにより、カフが気管壁と密に接触した状態となる。
- (4) すぐに - ボタンを押して圧力計の目盛が緑色の範囲に入るように空気を放出し調整する。
- (5) カフ圧の設定が済んだら閉止コックを CLOSE (青色●印) 側に回して空気の漏れを防ぐ。
- (6) 気管チューブ又は気管切開チューブに常に接続することにより、本品はモニタとしての機能をする。
- (7) カフ圧設定値の変更や環境によるカフ圧の変動があった際は、閉止コックを OPEN (黄色○印) 側に回してから + または - ボタンを押してカフ圧を調整し、調整完了後は閉止コックを CLOSE (青色●印) 側に戻す。

#### 3. 使用後の取扱いについて

- (1) 電源スイッチを切る。
- (2) カフインフレーションラインから接続チューブをはずす。
- (3) 本体を清掃し、接続チューブを新品に交換して保管する。

取扱説明書を必ずご参照ください。

#### 4. 安全機能について

- (1) 本器または気管チューブに何らかのエア漏れが発生してカフ圧が低下した場合、約10hPa以下になると本体からアラーム音を発信する。
- (2) コール機器やナースコールシステムをアラーム出力部に接続している場合は、本体からのアラーム音に連動してアラーム信号を出力する。

・異常が確認された場合は直ちに使用を中止すること。

#### 2. 洗浄・消毒

- ・汚れや付着物を良く落としてから洗浄・消毒すること。
- ・消毒液などの液体が機器に入らないように注意すること。

### 【使用上の注意】

#### 1. 併用機器

- ・本品は、大容量低圧カフ付き気管内チューブおよび気管切チューブと併用する。
- ・接続チューブとカフインフレーションラインがしっかり接続されていることを確認すること。

#### 2. 相互作用(他の医薬品・医療機器等との併用に関すること)

- ・併用禁止(併用しないこと)

医療機器の名称等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子
磁気共鳴画像診断装置(MRI装置)	検査室に本品を持ち込まないこと。 MRI検査を行うときは本品および接続チューブを取り外すこと。	誘導起電力により局所的な発熱で火傷のおそれがある。 また、磁気により本品が吸着されるおそれがある。
高圧酸素患者治療装置	装置内に持ち込まないこと。	誤作動や破損及び経時的な劣化を来すおそれがある。 また、爆発の誘因となるおそれがある。

#### 3. 重要な基本的注意

- ・本品に落下などによる強い衝撃を加えないこと。
- ・患者の体位変換などにより接続チューブが閉塞したり、各部の接続が外れたりしないように気を付けること。

#### 4. その他の注意

- ・本品の廃棄については、所在の自治体の規定に従うこと。
- ・水などの液体がかからないよう注意して使用すること。
- ・機器の分解はしないこと。また、修理の際はお買い上げの販売店に連絡すること。

### 【保管方法及び有効期間等】

#### 1. 保管方法

- ・高温、多湿、直射日光及、水濡れを避けて下記条件にて保管すること。
- ・周囲温度：-15~+40℃
- ・相対湿度：10~75%（結露なきこと）

#### 2. 耐用年数

5年〔自己認証（当社データによる）〕。

（但し、指定された使用環境において標準的な頻度で使用され、指定の保守点検と定期交換部品・消耗品の交換をした場合の年数であり、使用状況によっては異なる場合がある。）

### 【保守・点検に係る事項】

#### 1. 保守・点検

- ・安全に使用するために取扱説明書に記載した保守点検チェックを定期的に行うこと。
- ・使用前は必ず取扱説明書に記載した日常点検を行うこと。

### 【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売業者：トクソー技研株式会社

住 所：〒879-0232

大分県宇佐市大字大根川318番地

電話番号：0978-33-5595

取扱説明書を必ずご参照ください。